

名取北高校だより

# 名北の風

平成28年度第1号 (2016/04/20発行)

桜の咲く中、4月8日に新入生を迎え、全校生徒836名で平成28年度がスタートしました！



入学式  
希望を胸に迎えた

## 学校だより発行によせて



校長 金澤 隆志

この4月に16代校長として着任いたしました金澤隆志と申します。仙南の角田市から車で通勤しています。赴任以来、生徒達の様子を見ていますが、総じて“大器晩成の器”だと感じています。こつこつと真面目に努力する生徒が多く、この姿勢を長い年月継続していけば、いつかどこかで必ず大輪の花を咲かせる生徒達だと確信しています。学校全体が明るく元気になるよう力を尽くして参りますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、本校は、開校38年目となり、これまで11,413名の卒業生を輩出し、地域の学校として皆様のお世話になって参りました。

そこで、これまでの伝統を踏まえ、さらに地域に開かれ、愛される学校づくりを推進するため、学校だよりを発行することといたしました。月に一回の発行を予定しています。内容は、学校の教育活動や生徒の活躍を紹介する他、保護者の皆様や同窓生の皆様、地域の皆様にも登場していただき、本校をより身近に感じていただけるよう、親しみやすいものにしていきたいと考えています。

なお、校長室にはコーヒー、紅茶、緑茶を用意して皆様のお越しをお待ちしておりますので、お気軽にお立ち寄りください。



生徒会長からのメッセージ  
松崎里歩 (3年・宮中出身)

新学期が始まり2週間が経ちました。一年生は初めての高校生活、新しいクラスに、不安や期待を抱えつつも、少しずつ慣れてきた頃でしょう。



体育祭や文化祭などの学校行事、クラスでのHRなどを通じて、卒業するときに「北高で過ごせて良かったなあ」と思えるような今年を、全校生徒で作っていきましょう。二年生は核になる学年です。期待しています。三年生はあらゆるものが「高校生活最後」になる年であり、進路達成に向けても重要な年です。何事にも積極的に取り組み、後悔のないよう一日一日を大切に過ごし、素晴らしい北高生活を創造しましょう。



### 新入生入学式宣誓

柔らかく吹く風と咲き誇る桜の花から春らしさを感じる今日この日。私達280名は宮城県名取北高等学校への入学を許可されました。

9年間の義務教育を終えた私達は、大きな希望を抱きながら、今新たな一步を踏み出そうとしています。今までとは全く違う環境にわずかな不安もありますが、自らが選んだこの名取北高校での生活は、

有意義なものになると確信しています。また、これまで支えて下さった方々への感謝を示せるよう、周囲の方々や自分自身と真摯に向き合っていく覚悟です。

私達新入生一同は、自らの輝かしい未来を築くため、先生方や先輩方を模範とし、出会うことが出来た新しい仲間と切磋琢磨しながら、日々精進していくことをここに宣誓いたします。

平成28年4月8日

第38回入学生代表 佐藤智香 (増田中出身)



登校時のさわやかなあいさつで新学期開始です。始業日から生徒会、運動部が日替わりで、校門のあいさつ運動を行っています。さわやかに一日を始めるとともに、自転車の安全運転等、安全な登校を呼びかけています。

### 学校(授業)公開週間を実施します

日時：5月16日(月)～20日(金)

9:50～12:40 (2～4校時)

(受付12時マデ)

保護者、学校関係者、近隣地域にお住いの方を対象に、学校(授業)公開を行っています。申込不要です(受付で記名いただきます)。どうぞお誘いあわせのうえ来校ください。

(11:30-食堂利用可能です)

保護者の皆さまへ PTA総会が開催されます！

4月27日(水) 13:30-総会 15:00-学年PTA 16:00-学級懇談 お誘いあわせのうえ、ご参加ください。

「3・11なとり関上追悼イベント2016」に多くの生徒がボランティア参加しました。



灯籠の火の管理を行う生徒

今年から会場を名取市役所前に移して開催されたイベントに47名の生徒が参加しました。事前の絵灯籠の絵制作には、美術部、コミックイラストレーション部等が参加。2月の絵灯籠組立、イベント当日はみぞれ交じりの中、灯籠の火の管理等に従事しました。2月29日に「大震災を語り継ぐ北高生の集い」で関上中遺族会代表の丹野祐子さんから「命を守るために教訓を語り続けることの大切さ」を学びました。今後も北高生は社会を支える人として成長するため、チャレンジを続けます。

記憶を語り継ぐ大切さを話す丹野さん



ボランティアに参加することになりました。ボランティア当日は、灯籠の組立、点火や関上中学校卒業生へのメッセージを書いたりしました。内側から暖かい光で照らされた灯籠には、その光よりも更に温かい応援の言葉が書かれていました。記されている地名は県内から県外まで全国各地からのものでした。中には英語やフランス語のものまであり、絆の強さを教えられました。静かにしかし力強く灯籠の火を見て、ボランティアに参加した者も追悼式に参加した方々も、何かを感じたことだと思えます。年を重ね、出来ることが増えて来ましたが、これから更に増えて行くのだと思います。その中で自分が行きたいと思えます。

「ボランティアを体験して」  
山瀬和音（2年・名取一中出身）  
五年前のあの頃、被災された関上の方々が道路を一本挟んだ向こう側にいました。私が通っていた小学校の体育館に避難されていたのです。自分には家があり、暖がとれます。しかし、被災された方々は体育館の冷たい床で眠っていました。当時、小学五年生だった私は何もすることができず、その時のことが心残りでした。五年という歳月を経た今、私には何かできることがあるはずだ、と思ひボランティアに参加することにしました。



山瀬和音（2年・名取一中出身）

**吹奏楽部定期演奏会**  
5月22日（日）14時開演  
名取市文化会館、入場無料  
3部構成にパワーアップしたステージ。暖かでエネルギッシュな演奏会です。ご来場を心よりお待ちしております。

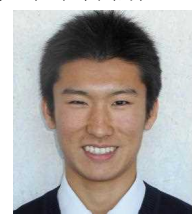
**演劇部 山形市で招待公演**

演劇部は宮城県高等学校演劇コンクール最優秀賞を4年連続で受賞し、昨年3月までの全国大会に3年連続出場している。2月21日（日）に山形県高等学校演劇専門部より招待を受け、シベールアリーナでの公演を行った。



**山形公演を終えて**

富塚啓人（3年・山下中出身）  
私たちにあって、より多くの方に劇を見ていただくことは何よりの喜びです。ですから、私たちは自分たちの劇を見ていただける事への感謝と喜びの気持ちで上演します。今回の招待公演で『父、ゆえに』を上演しました。この劇は、地雷をつくる町工場とカンボジアを舞台に、父が地雷を作っていると知った息子が罪の意識にさいなまれ、地雷処理をしにカンボジアへ行くという劇です。上演後、感動したという感想をいただいたのは、私たちの今後の励みになり、実り多い公演になりました。そんな公演を終え、私たちも新たに前進しています。私自身最上級生になりました。「頼られる先輩」になることは難しいことですが、今までのたくさんの経験を生かし、良い部活動にしていきたいと思えます。今後もより一層の努力を重ねていきますので、温かく見守ってくださると嬉しいです。



この3月卒業した先輩から、後輩へのメッセージ  
佐藤立（宮城大学 事業構想学部 事業計画学科 名取一中出身）  
私は野球も勉強も、夢に向かって全力で取り組む、無事第一志望へ合格することもできました。大切なのは、自分の強みを見つける事です。後輩の皆さん、頑張ってください！

**第35回卒業生進路状況** (3/18付)

【宮城県名取北高等学校】  
〒981-1224 宮城県名取市増田字柳田103  
TEL 022-382-1261 FAX 022-384-8976  
HP <http://natorikita.myswan.ne.jp>  
mail [chief@natorikita.myswan.ne.jp](mailto:chief@natorikita.myswan.ne.jp)  
(担当) 教頭・町田尚彦  
(学校だよりのご感想をお寄せください)

		進路決定数	合格のべ数	内訳
大学	国公立	8	8	宮城大4,山形大2,福島大,小樽商科大
	私立	136	148	東北学院大60,東北福祉大26,津田塾2他
短大		15	15	仙台青葉短大,聖和学園短大
専各	専修各種	52		宮城調理製菓専,仙台高等技術専他
	看護医療系	18		仙台医療センター,仙台徳洲会,他
就職	公務員	12		名取市職,宮城県職,宮城県警,自衛官他
	民間	19		アリスオーヤマ,相双信用組合,仙南農協他
	他	1		縁故
他		10		進学準備他,